

学校評価まとめ

学校名 深谷市立豊里中学校

校長名 荻野 浩和

1 学校評価のねらい（学校・園としての受け止め）

- (1) 地域に信頼と支援を受け、生徒が楽しく通う学校をつくるため。
- (2) 評価を通して、学校教育の見直しを行うため。
- (3) 新しい学校像を築くための参考資料とするため。

2 評価の方法（自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等）

- 自己評価（教職員） 2回アンケートによる
- 学校評価（生徒） 2回アンケートによる
- 学校評価（保護者） 1回アンケートによる
- 学校関係者評価（学校運営協議会委員） 1回アンケートによる
(今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第3回学校運営協議会が開催できず、評価していただく機会がなくなった。)

3 評価の結果

※ <満足度の計算方法>

$$\frac{(\text{よくあてはまる数} \times 2) + (\text{ややあてはまる数} \times 1) - (\text{あまりあてはまらない数} \times 1) - (\text{あまりあてはまらない数} \times 2)}{\text{総数}}$$

<例>

- ・総数を10としたときに、「ややあてはまる」に10人が答えた場合、 $10 / 10 = 1$ 、0となる。（最大満足度は2、0）
このように考えると、1、0以上を満足できる結果と言える。

(1) 主な指標（満足度）の変化

① 職員評価

- ・「深谷の子『6つの誓い』の具体的な取組が実施されている」が
昨年度 1.29→今年度 0.97。今年度 1回目 0.87→2回目 1.07。
- ・「『学校が好きだ』と言える生徒の育成を図る具体的取組を実施している」が
昨年度から 1.21→0.97 と減少。今年度の中でも 1.00→0.93 と減少。
- ・「学校図書館を計画的に利用し、読書活動に積極的に取り組んでいる」が
昨年度 0.96→0.83 と減少。今年度の中でも低くなっている。
- ・「いじめ防止等、問題行動への生徒指導体制が整備され、機能している」が、
昨年度 1.39→今年度 0.90 と減少。今年度 1回目 0.80→2回目 1.00。
- ・「ICT や情報通信ネットワークを効果的に活用できる学習活動が実践されてい

る」が 0.70 と低くなっている。今年度の中でも 1 回目より 2 回目が低くなり、0.53 と減少している。

- ・「校務分掌の分担により組織が機能的に働いている」0.73。1 回目 0.93→2 回目 0.53 と減少している。

② 生徒評価

- ・「授業や学校行事等で感動できることがあった」昨年度 1.05→今年度 0.88 と減少。今年度 1 回目 0.83→2 回目 0.93
- ・「部活動に進んで取り組んでいる」昨年度 1.26→今年度 1.37 と高くなっている。今年度 1 回目 1.31→2 回目 1.44。
- ・「本は進んで読んでいます」昨年度より、0.1 ポイント高くなったが 0.61。今年度 2 回目は 0.41。
- ・今年度から追加した項目「靴そろえなど身の回りの整理整頓」「授業開始 1 分前着席」は 1.4 以上。1 回目より 2 回目の方が高くなっている。
- ・今年度から追加した項目「早寝早起きを意識して生活している」は 0.87。

③ 保護者評価

- ・「『いじめのない学校』づくりを行っている」昨年度 0.8→今年度 0.3
- ・「テレビゲームスマホ等の使用時間や約束が適切に行われている」が昨年度同様 0.1。
昨年度から満足度が下がっている項目が 10 項目中 6 項目となっている。
- ・学校は「保護者の相談などに丁寧に対応している」が 1.1 と、昨年度より 0.1 ポイント高くなっている。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

① 職員評価

- ・「学校目標の具現化への取組」昨年度 1.38→今年度 1.30

② 生徒評価

- ・「『いじめを、しない、させない、ゆるさない』ように生活している」昨年度 1.62→今年度 1.55
- ・「将来の夢や目標を持っている」昨年度 0.91→今年度 1.00 と高くなっている。しかし、今年度 1 回目 1.04→2 回目 0.96 とわずかに減少。

③ 保護者評価

- ・「規律正しく、思いやりのある生徒を育てている」昨年度 1.1→今年度 0.7

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

① 職員評価

- ・「『わかる授業』を目指して工夫している」昨年度 1.45→今年度 1.27
- ・「生徒に家庭学習を推進し、学ぶ力の充実に努めている」が 1.43 と高くなっている。

- ・「個に応じた指導や少人数指導などの工夫・改善」昨年度 1.30→今年度 0.80 と低くなっている。
- ・「学級活動等を通して望ましい集団の育成が図られている」昨年度 1.31→今年度 0.97 と低くなっている。

② 生徒評価

- ・「進んで授業に取り組んでいますか」昨年度 1.31→今年度 1.29
- ・「授業は、わかりやすいですか」昨年度 1.06→今年度 1.14 と、やや高くなっている。
- ・「宿題の他に自主学習をしている」昨年度 1.07→今年度 1.07 と、やや下がった。
- ・「授業で力がついたと実感できる」昨年度 0.97→今年度 1.09 と、高くなった。

③ 保護者評価

- ・子供は「家で自主学習をしている」昨年度 0.6→今年度 0.5
- ・子供が「夢や目標に向かって努力している」は昨年度から 0.7→0.5

4 次年度に向けての展望

- 学校評価を3部会の学校評価検討部会を組織し、そこで結果について分析し、「具体的な改善策」を考えた。それを来年度の教育計画に生かしていく。また、職員の学校評価にもあった、校務分掌がさらに機能するよう、組織としてマネジメントサイクルを生かして改善を図る。
- 各学校評価の結果を保護者や生徒と共有し、学校の課題や強みとして意識し、それぞれが当事者意識をもって、生徒、学校をよりよくすべく取り組むよう、組織的に働きかける。
- 学校運営協議会で、学校評価をもとに学校運営について熟議し、地域社会と連携して、充実した教育活動を展開できるよう努力していく。